

## デッチ上げ・蒲郡駅事件 第6回公判/報告集会

1月22日、名古屋地方裁判所において、蒲郡駅事件第6回公判が行われ、全国から結集した仲間と共に報告集会を開催しました。傍聴券の獲得行動には、全国から180名の仲間たちが結集し、82席ある傍聴席のうち59席を獲得しました。

今回の公判では、当時の委員長である萩原JR総連執行副委員長が証人に立ち、会社の内部文書が郵送されてきた事実、そして、その文書をホームページに掲載した経緯、他にも多く内部告発と思われるビデオテープ、マイクロカセットテープ、文書などが送られてきている事実などを証言しました。さらに、会社がこの間繰り返してきた、不当労働行為の数々を赤裸々に証言し、会社が労働組合の弱体化を狙っていること、「内部告発」で明らかとなってしまった労務管理の実態を押し隠すために、加藤さんを「犯人」に仕立て上げようとしているということを強く訴えました。

報告集会では、この事件は単なるデッチ上げ「窃盗事件」ではなく、不正と闘う労働組合に対する政治弾圧であることをあらためて認識し、不正に対する闘いを今後もしっかりと積み重ねて、あらゆる弾圧をはね返していくことを全体で確認し合いました。次回は、3月5日14時から論告求刑となります。



集会で報告する萩原JR総連副委員長

萩原証人！会社・公安による  
デッチ上げを赤裸々に暴露！